

第8回 みくにひじり幼稚園・保育園 学校評価委員会 議事録

平成30年6月22日(金) 午後6時～

みくにひじり幼稚園 3F会議室

記録者 みくにひじり保育園主事 丸山

木原 輝昭	三国地区社会福祉協議会	佐田 幸代	母の会 ・前会長
濱本 芳次	三国小学校 ・校長	横山 英幸	保育園卒 現幼稚園 保護者
木村美也子	三国小学校 ・PTA副会長	田中 美雪	三国八町会
井原 高志	西三国小学校・校長	畑 結子	三国八町会
金光 善浩	西三国小学校・PTA会長	安達 巡	みくにひじり幼稚園・園長
吉田 典子	宮原小学校 ・校長	奥村 綾	みくにひじり幼稚園・副園長
三上 秀治	宮原小学校 ・PTA会長	安達 香代	みくにひじり幼稚園・主事
豊田 剛児	おやじの会 ・会長	安達 祐一	みくにひじり保育園・施設長
西村富美子	母の会 ・会長	前田 純子	みくにひじり保育園・主任
平山 貴雄	おやじの会 ・前会長	丸山 朋大	みくにひじり保育園・主事

出席者(計20名)

1、 園長挨拶

①学校評価委員会についての考え方②評価委員メンバー構成について③情報公開了承のお願い

2、 自己紹介

3、 評価内容項目

①29年度 自己評価結果公表シートについて(幼稚園・保育園)

②29年度 保護者アンケートについて (幼稚園・保育園)

4、 保育内容について(幼稚園・保育園)

○保育園 絵本の読み聞かせの大切さ

○幼稚園教育要領改訂に伴う保育内容の見直し ○トイレトレーニング

5、 意見交換 (主なご意見)

・うきうきタイムの話は家でもよくしてくれる。最初は旧クラスの友達と遊ぶことが多かったようだが、日が経つにつれて新クラスの友達と遊ぶようになった。新旧クラスの仲間が増えてよかった。

・大人でも育児は手探り状態である。保育に対しての新しい試み。何でもやってみるのは大切。頑張ってもらいたい。

・自身の子どもが幼稚園に入園してから自主性が出てきて、積極的に取り組むようになった。

・うきうきタイム=ただ自由と大人は考えてしまう。小学校に入った時にちゃんとできるのか

不安はある。小学校の先生はうきうきタイムをどのようにとらえるのか不安はあるが、いい試みだと思う。

・自身の子が卒園後にうきうきタイムができた。内容を聞いていると、うちの子かなり楽しめたのではないかなと思う。うきうきタイムが学校の規律としてはどうかな?と思うが、『自分からする』ということを小さい時からすることは良いことだと思う。

・自身の子も卒園している。この園長先生となら子ども達は楽しくやっていけると思うので、いいと思う。

・小学校では45分座ることに集中できない。15分に1回課題を与えるようにしている。学校の学習規律はどうなっているのかという意見があったが、深い学び・自主性・積極性共に学ぶよう小学校でも同じようにしている。保育園のざぶとん読みは良い。本から学べることは沢山ある。是非続けてほしい。

・ひじり幼稚園からは多くの子どもが入学している。子どもの傾向として2年生は静か、1年生は元気。最近気になることは子どもの体力面の事。データとして出ているが、下の学年にいくほど平均を下まわっている。取り戻すにしても3年生がピーク。幼稚園・保育園からしっかりやるのが大切。のびのび育てるのは良いことだ。指導者が正しく導くことが大切。小学校も工夫している。自主性、積極性が育つよう小学校もしている。

・うきうきタイムがあったら自身の子も楽しめたと思う。子どものすることをついつい先回りしてしまう。向こうからするのを待っているが、言ってしまう。待つようにしたい。

・子ども達は知的好奇心があり、『なんで?』と思っている。しかし大人の都合で遮り、指示待ちの子が育ってしまう。指示待ち子を育てないように大人が思わないといけない。うきうきタイム→ただ自由でなくて、何を思っているのか、何をそうするのか、評価しないといけない。

保護者への説明も大切。ひじりは先生と子どもの出会いの場を大切にしていると思う。

・いま、自分はPTAの会長をしている。なぜなのか?考えてみることもある。幼稚園のときのおやじの会等の活動が楽しかったからだと思う。しない人は元から敬遠していると思う。園長の自由なオーラは保護者に伝わり大人にプラスになっている。

・新しい試みを進めて子ども達をより良い方向に進めていると思う。少子化の中でひじりでの新しい試みで、いい子ども達が育つことは頼もしい。保護者のなかには挨拶しないでほしいという意見もある。知り合いに挨拶すると何をされるかわからないから。自身としてはひじりの子ども達のように自然と挨拶できる子が増えてほしい。

・会社を休むのに今の子は親が電話してくる。中学・高校では子どもの電話は受け付けない。

その経緯があるので、自分でしようとしめない。自主性を育てるのは親である、決して幼稚園や学校ではない。私自身は絵本をよく読み聞かせていた。絵本の読み聞かせは大切。情緒を育てる。読み聞かせ方により、色々な表情がでる。親の背中を見て育ててほしいと思う。

・自身は子どもの教育は母親に任せきり。仕事一筋であった。うきうきタイム等すごい取り組みをしていると思う。常に前へ前へと発想してやることは子どもにとってすごい影響力があると思う。自主性、積極性が育っていると思う。今の若者はそういうものが欠けているのでこの取り組みは大切。防犯→挨拶については地域によっては知らない人に挨拶しないようになっている。危ない目にあったら大きな声をだすのも大切。

【アンケート結果(通回収)】(10通回収)

① 自己評価結果公表シート評価結果について (幼稚園)

・適正である・・・10 ・適正でない・・・0

自己評価結果公表シート評価結果について (保育園)

・適正である・・・10 ・適正でない・・・0

〈ご意見〉

・園の教育目標を園児に対してだけでなく説明を聞くほどに園長先生を始め、皆さんがご自身の行動基準としてもっておられ活動されているように感じられとても良かった

・保護者の方が非常に信頼されている評価結果であると感じた。

・初めて参加しましたが、1.(目標)～5.(課題)までわかりやすい資料でした。評価結果に基づき今後の取り組みも頑張っていたきたいと思います。

② 保護者アンケート集計結果について (幼稚園)

・適正である・・・10 ・適正でない・・・0

保護者アンケート集計結果について (保育園)

・適正である・・・10 ・適正でない・・・0

〈ご意見〉

- ・保育園へのアンケートを読んで驚きました。『保護者面談時に悪いところできないところしか言われなかった』・・・できなくて当たり前年齢ですね。私たち大人でもそういうところいっぱいあります。それは時と場合によっては伝えなくてよいと思います。保護者さんもそれを悪く取らず家庭と一緒にできるよう促してもらいたい旨を伝えてあげてください。
- ・よく保護者の思いが出ていて良かったと思います。保育園の親御さん方は子どもさんの成長ぶりが嬉しいと思い、そして幼稚園児の親御さんは子どもの成長期待感が高まっているように感じられこれもとても良かったと思います。
- ・100%近くの方々から高評価をいただいていることが素晴らしい。
- ・現状維持でいいのではと思うところもありますがいろいろな意見がありますね。今後の参考にしていただければいいと思います。

③ ◎保育内容について (幼稚園)

- ・いつも笑顔の園長先生に感謝です。
- ・今年度より取り入れられたうきうきタイムが素敵だと思います。
- ・自主性・主体性の育成にも取り組んでいただいていることに感謝いたします。
- ・『育ちの芽』の『育てほしい10の姿』そうやってほしいと思って育児していますが、中々日々の慌たしさで押し付け育児、のびのびさせてあげられません。ひじりの園方針はのびのびしていて良い環境だと思います。
- ・先生が時代にあった感性で取り組んでおられるように思いました。これからよりよくなるように明るく楽しく子どもと接してください。(保育園も)
- ・うきうきタイムがとてもステキな取り組みだと思います。
- ・主体的・対話的な深い学びの素地を育まれているところが素晴らしい。
- ・マニュアル保育だけでなく子ども達の自分のペースで取り組みをさせる、自分で考えさせるという新しい保育はとてもいいと思います。常に保護者の意見、先生たちの意見を元に工夫をしていってほしいです。
- ・うきうきタイムオープンシステム僕自身大好きです。
- ・運動・表現・制作どれも保育に取り入れておりいいと思います。

◎保育内容について(保育園)

- ・絵本の読み聞かせをして帰れる環境が素晴らしいと思います。
- ・先生方に恵まれ、豊かな保育期間を過ごさせていただいたことに心より感謝いたします。
- ・ざぶとん読み、子が一人の時はぎりぎり出来ていましたが、下が産まれたり、上に子(年齢問わず)がいると家でゆっくり本読みの時間はできませんでした。皆共働きでそんな人も多いと思います。でも、きっと家から離れている時は、家事は少し頭から離れていると思うので、保育園内の絵本コーナー良い場所だと思います。たくさん利用してほしいなと思いました。
- ・時間に追われている保護者の皆様たちにとってざぶとんタイムは少しだけホッとできる時間帯だと思います。子どもとゆっくり過ごせる時間を提供していただけることはとても大事だと思います。
- ・親子での絵本緒読み聞かせの取り組みが良い。
- ・絵本のざぶとん読みはすごく良いと思います。簡単なことだけなかなか子ども達とのコミュニケーションをとる時間がない中、お迎え時にコミュニケーションの場があるというのは親にとってもありがたい事だと思います。絵本の貸し出しは、いい取り組みだと思います。

◎本日の評価委員会の内容について

- ・全体的に感じたことは、園の方針についてはとても良いと感じました。子どもの自主性、学びの環境 保護者の活動参加 どれも理解できます・・・が、どこの親御さんのお話を伺っていても園に感謝していらっしゃいますが、子どもの成長への自分自身の関りはどうなのかと感じました。まずは自分たち親が家庭内でどれだけ

子どもと関わり成長できるかだと思います。何事においても『できる・できない』園に任せるのではなく、もっともっと子どもと関わって一緒に過ごしていただきたいです。

・年に一度こういった形で集まり、意見交換ができる場合は年々家庭環境が変わっていくのでその時代にあった保育環境の見直しができていいことだと思います。これからもオープンで地域密着なみくにひじり幼稚園・保育園であっても欲しいと思います。

・日頃お会いできない方々と一同に集い、園の方針を聴取、意見交換させていただく機会は非常に重要と感じました。地域も含めて子ども達に最善の保育環境づくりに一助となるよう今日のご意見も踏まえて取り組んで参ります。

・今の小学生～勉強・習い事・規制ガチガチです。幼児期のうきうきタイム素敵です。今はいっぱい遊びから学んでほしいと思います。が、子が小学生になった時、急に規律・規則で落差が激しすぎる所に子どもの戸惑いは大きすぎるのかなと考えたりもします。これは話の中で出てきます。(すぐに慣れるんでしょうが)評価会、幼稚園の評価会ですが、この先進む小学校の先生方に、園方針・来年度はこんなひじりっ子が入学しますを知ってもらえた事もこの会の良いところなのかなと思いました。うきうきタイム反対の声は聞いた事ないです。でも、評価会で園長先生・奥村先生が話されていた、うきうきタイムスタートしてからの子どもの変化や小学校も幼稚園の方針を知っていること、幼稚園保護者は今知りたいところかなと思いますので、次号『育ちの芽』や何かの機会での園長先生のお話楽しみにしています。

・初めて参加させていただき貴重な話を聞かせていただきありがとうございました。人の成長はそれぞれの年代の中での関り方で変わってくると思いますが、それでも幼児期の期間はとても大事な期間だと思います。その期間に未来ある子どもと接することができる皆様方はとても素晴らしいことだと思います。とてもつらい嫌な日々も多々あると思いますが、地域の未来を社会の未来を造る人を育てていると大きく誇りをもってどんどん活躍してください。とてもうらやましいです。

・忙しい日々を過ごしているのはどのご家庭も同じかと思いますが、お手紙などには目を通してこのようなアンケートに答えてもらえたらもっと回収率が上がるのではないかと思います。

・今後も小学校との連携よろしくお願いします。

・昨年も評価委員会に参加させていただきましたが、それぞれの学校の意見、PTAの方の意見、町内会の意見、様々な考え方、子ども達の見え方が知ることができ、とても良い時間だと思います。正直、うきうきタイムはうちの子どもの時の時もあったらなと思います。上にも書きましたが、新しい取り組みは、とても大切だと思います。おそらくベテランの先生達を中心に大変だと思いますが、マンネリによる油断はなくなると思いますし、先生たちのやりがいにもなると思います。保護者の方はこれで大丈夫だろうかと不安の声もあるかと思いますが、先生達全員で協力して、今以上のみくにひじり幼稚園を作りあげてほしいです。

・子ども達が主体的に活動することはとても大切なことです。小学校でも指示待ちの子がいます。指示されたことはできるのですが、指示されなかったらなかなか活動できない子がいます。「先生、これどうするの」「先生これでいいの」と指示を求めたり、正しくできているかどうか確認したりします。先生を含め大人の言う通りにできれば『良い』と考えています。そんな子ども達に「何がしたいの」と尋ねるとなかなか答えが出てこないことがあります。活動に楽しさを感じられていない子もいます。みくにひじり幼稚園・保育園がすすめておられることはとても大切なことです。本日はありがとうございました。

・委員会に参加することより、園の方針、取り組み保護者の意見が分かり、自分自身勉強になりました。これからも大変ですがよろしくお願いします。

・個人的には2点『めばえ』子どもが描いた絵を年度末に渡していただきたいです。保管が難しいです。もう1点は、制作などでの取り組みです。子どものタイミングでやる事がダメだとは思いませんが、一斉に取り組み、完成に向かってがんばってする事が子ども達の成長課題には良いのではと思います。これからもよろしく申し上げます。

